

2年 校外学習 事後レポートⅡ

2年6組 _____ 番氏名 _____

青山学院大学 米山教授の講義について

講義内容について：

『機械工学とは力学を基にしたものづくりのための学問である。まず機械工学の全体像について解説し、この分野の課題を説明する。次に課題の一つである環境およびエネルギー問題について説明し、それに関連した発電の原理、電池の原理、さらには未来のエネルギーについて考える。最後に、省エネルギーと安全について材料強度の観点から説明する。』
という趣旨で講義をしていただきました

米山教授の講義の中から、何か1つの内容を選び、エネルギーに関連して、高校の授業とも関連付けたりしながら、新しく知ったことや考えたことについてまとめ、自由に自分の意見を書いてください。

私が一番心に残った内容は機械工学の課題の中にある「エネルギーの枯渇」についてだ。この内容は主に世界各国の電力発電量について「発電量が大きいほど国のサイズが大きくなる世界地図」を紹介して頂いた。これを見ると日本の発電量はアメリカに次ぐ世界第2位で多くの電力を使用していることが分かる。また、先進国を中心に発電量が多く、電力需要が増大すると供給が不足するので新しい電力システムを導入する必要があるの分かるだろう。この問題について先生は機械工学の視点から様々な発電の種類や、その内容を説明して頂いた。私は総合的な探究という授業の中で発電方法について調べていたのでとても興味深い内容だった。インターネットでは得ることのできない資料や図式を見ることができて沸騰水型原子炉(BWR)などの新しい知識を身に付けることができた。興味のない機械工学の分野について知ることができ、進みたい学部への選択幅が広がりました。